

## 「お年玉のルール」決めていますか？

～ママ FP のひとりごと⑦～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

新年あけましておめでとうございます。

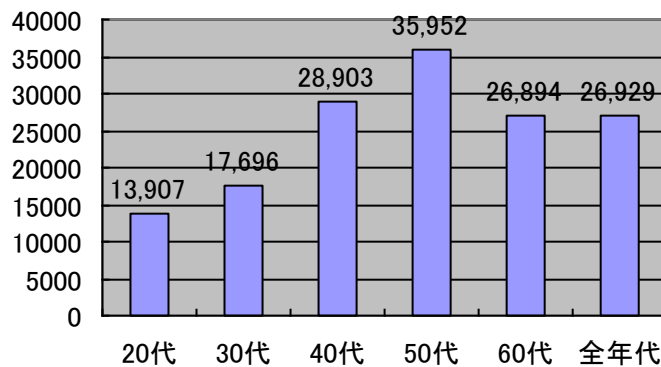
このお正月、自分の子や親戚の子どもたちに、お年玉をあげた方も多いのではないのでしょうか？実は「お年玉」は、意外と大きな出費項目なのです。たとえば自分たち、兄弟夫婦、義兄弟夫婦にそれぞれ2人ずつ子どもがいた場合、全部で6人の子どもにお年玉をあげることになりますので、1人5,000円としても3万円が一度にお財布から出ていくことに。そして金額によっては、相手に気を遣って余計な出費が生じたり、またはもらい過ぎることによって、子どもが高価なおもちゃを買い過ぎてしまったりすることもある。

こうしたことにならないように、我が家では親戚とは「お年玉の金額のルール」、子どもたちとは「お年玉の使い方のルール」を決めています。今回は、世間一般の「お年玉」のデータと我が家「お年玉のルール」について紹介していきます。

### 1. 気になる世間一般の「お年玉」

来年の「お年玉」に関するアンケート調査結果(※)から、世間一般のお年玉水準を見ていきましょう。

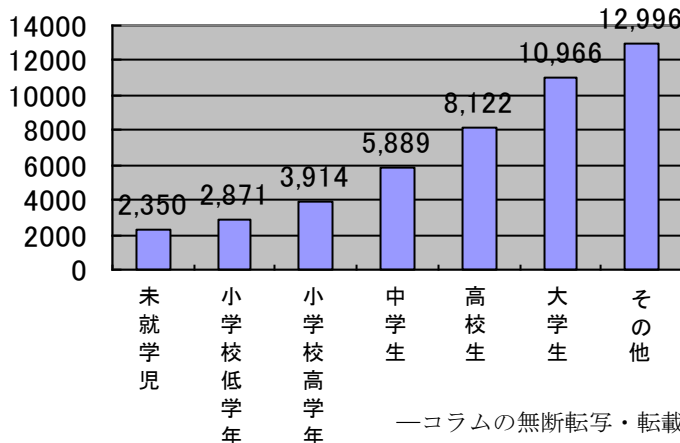
【今冬あげるお年玉の年代別総平均額】



お年玉の平均額は 26,929 円

50代の金額が最も多く「35,952円」。現役で収入も多いながらも孫が生まれ始める年代でもあることから、金額も高く、あげる人数も多いことが原因かと思われます。

【学校種別ごとの一人当たりの平均額】



年齢が上がるごとに金額 UP

あげる子どもの年齢があがれば上がるほど、出費も大きくなります。学校種別が変わるたびに2,000円ずつくらいUP。

(※)「お年玉に関する意識調査」より筆者作成  
住信 SBI ネット銀行/23年12月調査

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

このデータの数値を使って試算してみましょう。小学校高学年2名、中学生2名と高校生2名にあげた場合、総額はおよそ 36,000 円 (3,914 円×2名+5,889 円×2名+8,122 円×2名)。高校生3名、大学生3名になった場合、その総額はおよそ 57,000 円 (8,122 円×3名+10,966×3名)。結構な金額になることがわかります。

また、「姉夫婦から〇〇円もらうから、うちもあげないと・・・」というようにお付き合いも絡み、小学生でも1万円を超えるお年玉をあげている家の話も聞いたことがあります。年齢とともにもっと金額はあがることでしょう。

## 2. 「お年玉のルール」を決めよう

このように高額なお年玉にならないようにするコツは、子どもが小さいうちから「お年玉のルール」を決めることです。一例として、私が実践している「お年玉のルール」を紹介します。

### ■親戚で共有したい「お年玉の金額のルール」

我が家の場合、子どもの年齢に関係なく「1人1,000円」と決めています。

中学生の姪にも1,000円渡しますし、5歳の娘にも1,000円もらいます。ちなみに祖父母とはこのルールを決めていません。なぜならおじいちゃん・おばあちゃんの楽しみは「孫へお年玉をあげること」だから、金額は自由に決めてもらっています。

もちろん、小学生は1,000円、中学生は2,000円、高校生は3,000円と学校種別によって金額を変えるのも一つの方法です。大事なのは、ルールを共有すること。これによって「もらい過ぎ」や「出費過多」を防止できることでしょう。

### ■我が子と共有したい「お年玉の使い方のルール」

我が家（子どもが小学生と幼稚園生）の場合、お年玉のうち1,000円だけ「手元に残すお金」として貯金箱に入れさせてから、一緒に銀行に向かい、残りの金額を入金させるため自分の手でATMを操作させます。そして渡した1,000円については、何に使いたいかを親子で話し合い、本当に欲しいものだけ自分で買わせて、残りはまた銀行に行って入金をさせています。

もっと大きい子どもの場合でも、お年玉で何をしたいか考えさせることが大切だと思います。なぜそうしたいのか、親にプレゼンテーションをして認めてもらうことで、本当に自分に必要なことにお年玉を活用することができる子どもに育つのではないかと思います。

\*\*\*\*\*

子どもにとって「お年玉」は1年に1度、大金を手にする嬉しいイベント。と同時に親にとっても、お金の大切さを教えるチャンスでもあります。「お年玉のルール」を決めて、出費をコントロールするとともに、子どもの金銭教育の機会として有意義に活用したいものですね。

#### 《今月のお気に入り曲》

交響曲第1番

／ブラームス作曲

全4曲ある交響曲の中でも、21年もの歳月をかけて作曲された名曲中の名曲。ベートーヴェンの第10交響曲と評され、絶賛された曲です。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.